

開催日時：平成19年7月2日（月） 15:00～18:00

場 所：大阪府立労働センター（エルおおさか）6階 606号室

出席委員：池淵委員長、井野瀬委員、堀野委員、増田委員、森下委員、山下委員

## 1. 議 題

- (1) 二級河川大川水系河川整備計画について
- (2) 二級河川王子川水系河川整備基本方針について

## 2. 概 要

○二級河川大川水系河川整備計画について

(まとめ)

二級河川大川水系河川整備計画（原案）について、前回の委員会での指摘事項や縦覧による住民意見を反映したものを説明した。今回の指摘事項を整理反映させ、各委員に報告した上で、河川整備計画の申請手続きに移ることとなった。

(委 員) 洪水対策の目標に関して「市街化が進んでいることから、将来的には…」と記載しているが、流域人口が減少傾向にあることから、「交通の要衝になっていて非常に重要な地域」という表現にしたほうがいいのではないかと。

(事務局) 基本方針との整合も含めて、検討し、修正する。

(委 員) 費用対効果について、今後は参考資料として示していただきたい。

(事務局) 参考資料として示す方向で検討する。

(委 員) 目標流量の設定にあたっては、机上の計算だけではなく、実績流量等の把握に努めるべきではないかと。

(委 員) 洪水対策について、「災害の再発を防止し、洪水被害の軽減を図る」ではなく、「溢水の頻度を軽減する」等にしてはどうか。

(事務局) 修正する。

(委 員) 河川利用及び河川環境の現状と課題において、記載が現状のみとなっている。

(委 員) 住民意見に対して、「河川の特性や状況、動植物の生態系に配慮した整備に努める」と記載しているが、これは当然のことで、本来は「河川環境の整備と保全に関する目標」のところで対応すべきであり、これまでの整備計画と整合がとれていないのではないかと。

(事務局) これまでの事例について調査し、整合を図る。

(委 員) 「環境保全に対する住民意識が希薄になり…」とあるが、住民意見からはそのような印象は受けず、その後の文章の流れがおかしい。

(委員) 「良好な自然環境の保全又は水辺に親しめる空間の整備等の緑化に取り組む」としているが、「緑豊かな自然的空間を形成している」大川では、保全や緑化に取り組むのではなく、適正な管理が必要としてはどうか。

(事務局) 表現について検討し、修正する。

(委員) 今回の指摘事項を十分精査し修正した上で各委員に報告することで、概ね了解とする。

○二級河川王子川水系河川整備基本方針について

(まとめ)

二級河川王子川水系の河川整備基本方針(素案)とアンケート調査の方針について説明した。委員会での指摘事項を踏まえ、アンケートを実施するとともに、当該河川の特徴等を再度整理した上で、引き続き審議することとなった。

(委員) 流域の大半が密集市街地および一般市街地であることや、新王子川がボックス河川であること等が資料から読み取れない。

(委員) 二級指定区間上流部の状況を図面上に破線等で示し全体像がわかるようにすべき。

(委員) 流域の特性に関する過去と近年を比較した航空写真について平成4年が最新のものが。

(委員) 自然環境特性、社会特性について王子川流域に関するもののみについて記載すること。

(委員) 都市下水路・農業用水路が網目状に走っているなど、王子川流域の特殊性について記載してほしい。

(事務局) ご指摘の点について、記載内容を追加・修正する。

(委員) 住民から要望の高いにの対策等きめ細かく対応することが必要な流域ではないか。

(委員) 視覚的に水質がよくなっているように感じないが、川に対するイメージの向上についてどのように踏み込んでいくつもりか。シビルミニマムの発想から、長期的には、マイナスのイメージを少なくともプラスマイナスゼロにまで持っていくことが必要ではないか。

(委員) 芦田川では環境整備も進める計画であるが、王子川ではどう考えるか。

(事務局) 芦田川は治水能力が不足しており、それを補うための改修にあわせ、環境整備を行っている。王子川については、治水能力をほぼ満足しており、環境整備を行うためには、費用対効果等、今後いろいろな検討が必要であると考えている。

(委員) 河川の通水能力を確保するだけでは、内水浸水がなくなることを説明すべき。

(委員) 住民アンケートの意見を踏まえ基本方針等を審議する立場であるので、アンケート内容についても委員会の意見を取り入れていただきたい。

(委員) アンケートについて、内容を整理するとともに、前書きや参考資料(写真・図)等をつけて、わかりやすい内容に検討願いたい。

(事務局) 検討し、修正する。

(委員) アンケートの中の王子川とは、王子川だけでなく、新王子川も含まれるのか。

(委員) 一般的な河川に対する項目でアンケートを行って、王子川では取り入れがたい回答が返ってきた場合、計画にどのように反映していくのか。

(事務局) すべて計画に反映することは難しいが、府全体の河川に対する住民の意向として受け止める。

(委員) 王子川のアンケートで、大阪府の基本的理念である100年に1度発生する確率の大雨が降った場合にも対処できる整備の妥当性を確認する必要はないのではないか。

(事務局) 指摘・質問のあった点については検討・修正し、委員にメール等で確認を行った上でアンケートを実施したい。

(委員) 基本方針については、当該河川の特徴等を整理した上で、再度、素案として審議することとする。なお、アンケートについては、委員会での意見を踏まえ、各委員に報告した上で実施すること。